

新任助産師教育について

<特徴>

*新任助産師は、基礎看護技術を習得するため、初年度は一般病棟に配置され、看護師として継続教育を受けます。新任者から希望があれば、**産科病棟への見学**や**応援研修**、**院内留学**を実施しています。



<一般病棟を経験した助産師の声>

- ◆1年間外科病棟で勤務した経験は本当に貴重であり、助産師として働く上でとても**ため**になった。
- ◆一般病棟の患者さんの**看護が楽しかった**。自分は助産師として働くことは決まっていたので、この機会にもう少し看護を深めたかった。師長に交渉し2年間、内科病棟で勤務した。
- ◆重症者や終末期の患者さんと関わったが、自分の将来を考えてく**とても貴重な看護**>と思いながら丁寧に関わった。
- ◆いろいろな看護の領域が体験できて、今**<看護の幅が広がっている>**と感じる。
- ◆最初は産科病棟以外の配置に不安があった。しかし、2～3ヶ月すると不安感より楽しく勤務でき**<やりがい>**も感じた。
- ◆内科病棟でインシデントも経験したが、どれも基本的なことでシステムや他の診療科の特徴も理解できた。
- ◆糖尿病や心疾患の患者さんの看護を経験し、今、妊娠合併症などを看ても**<初めてではない>**という**自信**ができた。診療や看護が理解できていると思える。
- ◆高齢者の患者さんとのコミュニケーションをとることで、**癒される**こともあった。
- ◆一般病棟で勤務し、**スムーズに基礎看護技術が学べた**。

基礎 I 研修（集合教育）と部署における実践指導

月	基礎 I 研修（集合教育）	配置部署	教育支援ツール
4	オリエンテーション 注射・採血研修 基礎看護技術研修 記録研修	3日：部署オエンテーション 病棟チームに所属 プリセプターシップ 受持ち患者（プリセプターとペア） 師長面接 チーム会（通年 1/月） 中旬：日々担当患者3名	マスターマップ（共通73項目の技術チェック） 振り返りシートA 基準（マニュアル/手順/チャート/フロー） 部署・院内学習会（通年） オンデマンド研修

			ワークシート
5	他部門紹介 飯田市人事課研修	休日勤務（チーム患者の複数受持ち）	振り返りシート B マスターマップ（通年）
6	BLS&AED	夜勤導入オリエンテーション～シャドーイング	マスターマップ（夜勤項目評価） 夜勤前ラダー評価 夜勤導入基準
7	夜勤前研修（多重課題シミュレーション）	夜勤評価（チーム/プリセプター/師長）／副看護部長面接	振り返りシート C
8	医療安全・倫理・皮膚ケア		
9	人事課研修 フィジカルアセスメント／心に残ったケースのスピーチ	師長面接	
11	フィジカルアセスメント		「受持ち看護師」評価
2	まとめ研修 ラダー評価／自己分析	チームのまとめ／ケーススタディ 師長面接	マスターマップ評価 ラダー評価
3	基礎研修Ⅱ研修へ向けて		基礎看護技術評価修了書

産科病棟勤務後の経験年数による実践内容

経験年数	実践内容	教育方法
産科病棟 1 年目	1. 産科看護（妊娠期看護・産褥期看護・新生児看護・母乳育児支援など） 2. 分娩期看護、分娩時間接介助、出生直後の新生児看護 3. 分娩介助（1 件介助毎に指導者と振り返りを行い、おおむね 10 例の介助を行った時点で、自立して助産業務を行えるようになる）	エルダー制
2 年目	両親学級	
3 年目	産科外来にて外来看護実践	
4 年目以降	助産師外来にて妊婦健診・保健指導 長野県看護協会「出前授業」講師	